



町に支払う税金って何に使われてるの？

平成 25 年度 一般会計 / 特別会計

決算報告

町では毎年、皆さんが納めた税金がどのように使われたのかをお知らせしております。今回は、9月定例議会で認定された平成25年度決算の概要や、町の財政状況について少し詳しくお知らせいたします。

用語解説

歳入…収入のこと。税金、借入金、国や県から配分されたお金、各種手数料や使用料など。

歳出…支出のこと。公共事業や医療・福祉に係る費用、借金の返済、各種補助金など。

一般会計…一般的に経理する会計のこと。福祉や教育、消防などに住民に広く行われる事業に関する会計。

特別会計…国民健康保険、後期高齢者医療保険、浦郷診療所、へき地三度出張診療所、簡易水道、下水道の6事業を行う会計。

自主財源…町が自由に使えるお金。町税など。

依存財源…自主財源とは対照的に、使い道が決められたお金。国庫補助金など。

義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減できない経費のこと。

投資的経費…将来に残る施設等の建設・改良に係る経費のこと。

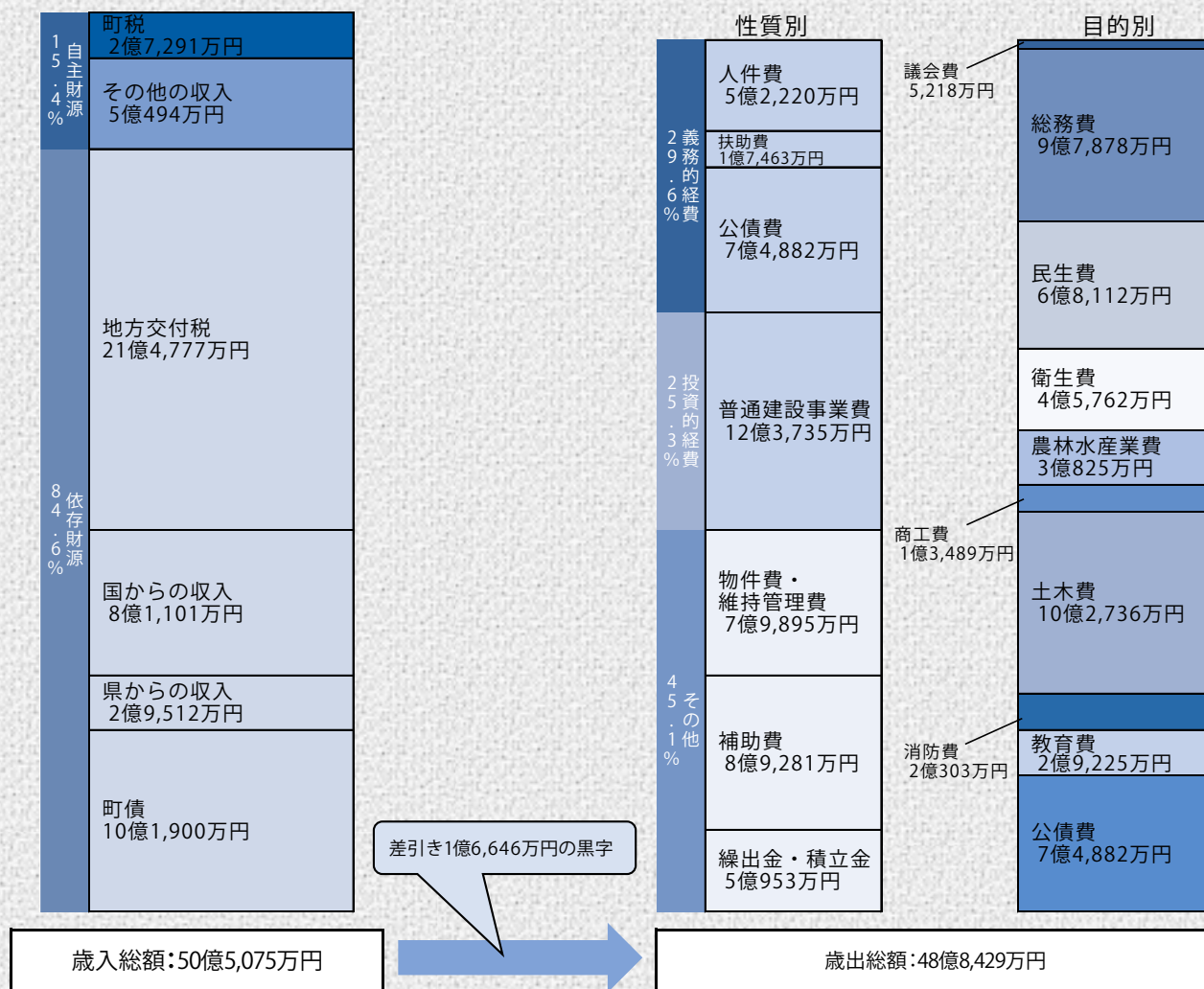
繰入金…一般会計、特別会計、基金の各会計間におけるお金の移動のこと。

町債…町が資金調達のために負担する債務のこと。
町の借金。

基金…町の貯金。

財政健全化法…自治体の財政破綻を未然に防ぐための法律で平成十九年に制定された。主に五つの指標を用いて自治体の財政状況を表すもの。

1. 一般会計について



決算の状況

◆歳入面

町独自の収入（自主財源）は、町税が2億7,291万円で前年度比1,114万円（3.9%）の減となっています。自主財源全体では、4,054万円（5.5%）の増となりました。これは25年度からサービスを開始した「にしのしま光ネット」に係る利用料等の増加が大きな要因と考えられます。

町独自の収入以外の収入（依存財源）には、主に地方交付税、国や県からの補助金、町債（町の借金）などがあります。これら依存財源が歳入全体に占める割合は84.6%となりました。町の歳入総額およそ50億円のうち、実に43億円余りを国や県に依存している状態です。平成25年度は国の補正予算に係る繰越事業など大型の補助事業が多かったため、その財源として国からの収入や町債が多くなったことで、歳入に占める依存財源の割合が高くなりました。

歳入全体では、同じように大型公共事業が多かった前年度と比較して3億1,064万円（5.8%）の減となっています。

◆歳出面

性質別では、町債の繰上償還等により公債費（借金の返済）が前年度比8,528万円（12.9%）、光ファイバー等の施設管理に係る物件費・維持管理費が2億1,578万円（37.0%）の増に対し、光ファイバー事業や別府港ターミナル整備事業など大型公共事業の完了により普通建設事業費は6億4,234万円（34.2%）の減となりました。

目的別では、国の補正予算に係る繰越事業（道路・港湾・公園）等により土木費が3億5,244万円（52.2%）、焼火林道舗装整備事業や漁業集落環境整備事業（下水道）により農林水産業費が9,702万円（45.9%）の増に対し、光ファイバー事業の完了により総務費は8億5,712万円（46.7%）の減となりました。